

授業科目(ナンバリング)	社会保障Ⅰ (DB303)			担当教員	余 乾生		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>社会保障は、私たちの日常生活を困難に陥れるようなできごと（病気、ケガ、老齢、失業、労災、子ども、ひとり親、多子…）に伴って生じる生活課題に対し、その解決や緩和を図るためのさまざまな制度・施策の集まりである。社会保障Ⅰでは、以下の諸点をねらいとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>社会保障の概念や対象及びその理念について、社会保障制度の展開過程も含めて理解する。</u> ・ <u>現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について理解する。</u> ・ <u>社会保障制度の財政について理解する。</u> ・ <u>公的保険制度と民間保険制度の関係について理解する。</u> ・ <u>諸外国における社会保障制度の概要について理解する。</u> ・ <u>高齢者福祉、障害者福祉及び権利擁護の制度等について基礎的な知識を習得する。</u> 							①②③⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障とは何か、介護保険制度、障害者自立支援法について説明できる。 ・ どのような場合にどの社会保障の制度から、どのような給付が受けられるか説明できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 小テスト 	50% 10%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理解したことを、ソーシャルワークの実践に活用できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 出席カードのコメント 	25% 5%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の生活と社会保障のかかわりについて認識できる。 ・ 社会福祉専門職として、社会保障制度理解の必要性について認識できる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期試験 ・ 出席カードのコメント 	5% 5%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験（80%）は、穴埋め式と筆記式を併用する。小テスト（10%）は、8 回目と 10 回目に 15 分程度のものを実施し、その場で採点を行い、復習を兼ねた解説を行う。また、毎回、出席カードのコメント（10%）は、当日の授業内容についてのコメントを求める。コメントについては、ポートフォリオや次回の授業で回答等のフィードバックを行う。これらを総合的に勘案し、上記到達目標についての評価を行う。評価基準は上記のとおりである。</p>							
授業の概要							
<p>授業は、指定テキストと毎回配布するレジュメを併用して行う。単に「覚える」という発想ではなく、社会保障制度を「理解する」ことのできる授業展開を目指す。そのために、毎回授業の冒頭に国家試験の過去問などを行うことをはじめ、ディスカッション等の実施により理解度の確認と応用力の養成を図る。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：福祉臨床シリーズ編集委員会編『新・社会福祉士シリーズ⑫社会保障』弘文堂、2023 参考書：日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座 7 社会保障』中央法規・2021 指定図書：教科書と同じ。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保障Ⅰは、後期の社会保障Ⅱとセットになっているので、<u>ⅠとⅡは両方を必ず履修すること。</u> ・ 授業外学修として、予習では、教科書の次回扱う部分を読んでおくこと、復習では、その日扱った内容をレジュメと教科書を突き合わせて確認し、その内容を説明できるようにしておくこと。復習に活用できるよう、配布したレジュメのデータは、授業後にポートフォリオにアップする。 ・ 授業では、わからないことはそのままにせず、授業前後、オフィスアワーなどに遠慮なく質問してほしい。 							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	授業の進め方、この授業で扱う範囲・予定などについて説明する。	予習：社会保障について知っていることをまとめる。
2	<u>現代社会における社会保障の現状</u>	人口動態の変化（少子高齢化、人口減少社会）、経済環境の変化労働環境の変化など、現代社会における社会保障の現状について理解する。	予習：教科書第1章 復習：社会保障の現状を説明できるよう復習。
3	<u>社会保障の概念や対象及びその理念①</u>	社会保障の概念と範囲、社会保障の理念、対象などについて理解する。	予習：教科書第1章（再度） 復習：社会保障の概念理念、対象などについて説明できるよう復習。
4	<u>社会保障の概念や対象及びその理念②</u>	社会保障制度の展開過程（歴史）について理解する。	予習：教科書第12章 復習：社会保障の歴史について年表に整理する。
5	<u>社会保障の財源</u>	社会保障の財政にかかわる諸問題（社会保障の財源と社会保障給付費、国民負担率、社会保障と経済）について理解し、持続可能な社会保障について考える。	予習：教科書第11章 復習：「持続可能な社会保障制度」について復習。
6	<u>社会保険と社会扶助の関係</u>	社会保障の方式としての社会保険、社会扶助のしくみと意義について理解する。	予習：教科書第1章（再度） 復習：日本の社会保障の発達過程について復習。
7	<u>公的保険制度と民間保険制度の関係</u>	公的保険（社会保険）と民間保険の主な種類、公的保険と民間保険の違いと現状などについて理解する。	予習：教科書第10章 復習：公的保険と民間保険の相違について復習。
8	<u>諸外国における社会保障制度の概要</u>	諸外国における社会保障制度の歴史と概要について理解する。	予習：教科書第13章 復習：各国の社会保障制度について整理する。
9	社会保障の国際比較	高齢化と社会保障の給付規模、社会保障給付費の内訳等の観点から日本と諸外国の社会保障の国際比較を行う。	予習：教科書第11章（再度） 復習：社会保障の国際比較について表に整理する。
10	<u>高齢者福祉と介護保険制度①</u>	介護保険の保険者と被保険者、保険給付と利用者負担、受給権者など、制度の基礎的部分について理解する。	予習：教科書第6章 復習：介護保険の概略について復習。
11	<u>高齢者福祉と介護保険制度②</u>	介護サービス等の種類・内容、介護サービス利用までの流れについて理解する。	予習：教科書第6章（再度） 復習：介護保険利用手続きの流れについて復習。
12	<u>高齢者福祉と介護保険制度③</u>	介護サービス情報の公表、介護予防の概念について把握する。また、国、都道府県、市町村、指定サービス事業所、国保連など、介護保険制度における組織、団体の役割について把握する。 介護保険制度における専門職の役割について把握する。	予習：教科書第6章（再度） 復習：介護保険における専門職の役割について復習。
13	<u>高齢者福祉と介護保険制度 高齢者福祉関連法</u>	高齢者福祉関連のその他の法制度、特に老人福祉法と介護保険法の関係について理解する。	予習：教科書第9章第2節 復習：老人福祉法と介護保険法の関係について復習。
14	<u>障害者福祉と障害者保健福祉制度①</u>	障害者総合支援法が創設された背景及び目的について把握する。障害者自立支援制度における組織、団体の役割について把握する。	予習：教科書第9章第3節 復習：制度における組織・団体の役割について整理。
15	<u>障害者福祉と障害者保健福祉制度②</u>	障害者総合支援制度のしくみについて理解する。	予習：教科書第9章（再度） 復習：障害者総合支援制度のしくみについて復習。
16	定期試験		